

# 多高通信

第111号 平成26年10月28日発行

## 県新人 山岳部男女

### 第3位おめでとう!!

■山岳部 安島 岳史 (2年2組 多賀城二中出身)



私たちが山岳部は県新人大会において男女共に3位入賞という結果を残すことができました。男子は1年半ぶり、女子は2大会連続での入賞となり、とても嬉しい気持ちにはもちろんありますが、優勝旗を手にするのが出来なかった悔しさと申し訳なさの気持ちの方が強いのが本音です。

■山岳部 下山 彩絵 (2年6組 七ヶ浜中出身)  
今回の大会結果は満足のいくものではありませんでした。なぜなら、テント設置でのペグの位置、ペーパーテストや態度・マナー面での失点をしてしまったからです。これらはとてももったいないことです。しかし、良かった点もあります。それは全員が山を登り切り、元気で登山をしたということです。途中、急斜面な所や鼻をこすってしまうくらい急な坂がありました。互いに声を掛け合うことなどなにか登ることが出来ました。

高総体では今回のようなミス無くし、悔いが残らないようにしたいので、これからの1回1回の山行を大切に、優勝を目指して努力していきたいと思えます。

## 新人戦に向けての意気込み

■弓道部 小泉 秀翔 (2年5組 岩切中出身)

3年生が引退し、1、2年生が主体となる新体制となつてから新人戦に向け部員1人ひとり日々の練習を積み重ね、特に、夏休みからは1年生も徐々に力を付け始め、個々の強さを感じられるようになってきました。

今回の新人戦は1年生にとっては初めての大会となりますが、互いに支え合い、弓道部一丸となつて目標であるベスト8を目指し戦ってきたいと思えます。

■弓道部 岩井ひなた (2年7組 岩切中出身)

今回の新人戦は新体制になつてから初めての大きな大会となります。緊張する中でも普段の練習通りに弓が引けるよう、自分と戦いながら落ち着いて射をしてきたいです。的中を取ることがもちろんですが、動作や射技などでも他の高校に負けないよう、1回1回の試合を大切に、それぞれが自分の力を発揮できるように頑張つてきますので応援よろしくお願いします!

■バスケット部 菅原 瑠星 (2年3組 利府中出身)

私たちは県大会出場を目標に練習をしてきました。練習中に士気を高めるため、部員全員で声を出すことを心がけ、試合を想定しての練習メニューでは自分が何をすべきか考えながら取り組み、顧問の穴戸先生に指導していただいています。前回の大会では満足のいく結果を出すことが出来なかったため、今回こそは納得のいく結果を出すよう頑張つて来ます。

■バスケット部 松田 涼花 (2年3組 塩釜中出身)

私たちは県大会出場を目標に、どのような練習でもチーム内で声を掛け合いながら乗り越えてきました。毎日バスケットボールが出来ることに感謝をし、悔いの残らないよう戦つてきます。常に「全力バ

スケ」でプレーし、勝ち上がってくるので応援宜しくお願いします。

■バド部 曾根 天 (2年5組 塩釜二中出身)

私たちは団体戦ベスト8、個人戦ベスト3に入ることができるよう頑張つてきます。そのためには、今まで練習してきたことをすべて出し切り、部員全員が最後まであきらめず、全力で戦うことが大切です。みんなの気持ちが一つになれるよう、部長として精一杯サポートしたいと思えます。

今回の大会結果は来年度の高総体につながるの、全力でプレーしてきます!

■バド部 新井 菜緒 (2年7組 多賀城二中出身)

新チームとして活動し始めてから4カ月が過ぎました。きつくて辛いこともありましたが、団体戦ベスト8、個人戦ベスト16を目標に毎日の練習に励んできました。4か月前と今の私たちを比較してみると、体力的にも技術的にも、そして精神的にも成長していると思えます。

個人戦は予選を通過した選手だけが県大会に出場することになりますが、出場する選手は自信を持ってプレーをし、1つでも多く勝ち上がれるよう頑張りたいと思えます。バドミントンは個人競技ではありませんが、団体戦ではチーム一丸となり、自分の良い点を発揮して試合してきます!

■卓球部 佐藤 諒平 (2年3組 田子中出身)

先輩方が引退した直後は、チームとしてのまとまりが無かったのですが、現在はだんだんとチームを意識しての行動が増えてきました。新人戦では団体戦ベスト8、個人戦は1人でも多くの選手が予選を通過できるよう、頑張りたいと思えます。

## 防災キャンプに参加しました!

■放送部 熊谷 笑 (3年6組 中野中出身)

9月27、28日に勾当台公園で行われた防災キャンプでは、本校が取り組んでいる防災に関する取り組みについて展示しました。放送部としては、展示を見に来てくださった方々にインタビューをお願いし、これからの高校生が果たす役割や本校に新設される災害科学科に期待することなどについてお話を伺いました。また、大震災で被害を受けた小学校や中学校の楽器などの備品を展示していた場所には人が絶えず、防災意識を強く持っていただけの様子でした。

私は今回の防災キャンプに参加していた方々が、防災・減災に真剣に取り組んでいる様子を見て、さらに1人でも多くの方々がこういったイベントに積極的に参加し、いざという時に備えることが出来たら良いなと感じました。

## SPPつくば研修

■古里 佑太 (1年2組 田子中出身)

1日目の筑波大学では、大型地震施設・降雨施設を見学させていただきました。どちらも大きくて迫力があり、今後起こるであろう災害に対する防災や減災に役立つのだなとおもいました。2日目のナダレンジャー実験では、雪崩や液状化などのモデル実験を通して、とても楽しく面白く教えていただきました。私は今回のこの貴重な経験をいろいろなことに活かしていきたいと思えます。

## 盛り上がった体育祭

■体育祭実行委員長 星 晴香 (3年2組)

今年度の体育祭は例年に比べ、運営・進行がスムーズに行われ、実行委員の皆には本当に感謝しています。学年リレーや玉入れなどでは各クラスで何度も作戦を練っている姿が見られました。そして、今回初めて行われた種目である6人7脚では、1、2、3年生が一つとなり、白熱した戦いとなりました。

私は体育祭実行委員長として、生徒みんなの笑顔がたくさん見られたことが何より嬉しかったです!

